

国民年金保険料（以下「保険料」）を納めていない状態で、死亡や障がいなどの不慮の事態が発生すると、遺族基礎年金や障害基礎年金を受給できない場合があります。

経済的な理由などで保険料を納付することが困難な場合は、申請により保険料が免除・納付猶予となる制度があります。令和5年度分（令和5年7月分から令和6年6月分まで）の保険料の免除・納付猶予の申請は7月3日から受付します。

また、申請は申請時点の2年1ヵ月前の月分までさかのぼって申請することができます。受付は役場住民課または岐阜南年金事務所です。

※マイナポータルからマイナンバーカードを利用して電子申請ができます。事前にマイナポータルの利用者登録が必要です。

申請に必要なもの

- ・国民年金保険料免除・納付猶予申請書（住民課窓口にあります）
- ・マイナンバーまたは基礎年金番号がわかるもの
- ・雇用保険被保険者離職票（離職した方）

●日本年金機構からのお知らせ

国民年金保険料は口座振替、クレジットカード、ペイジーなどによる納付方法に加え、スマートフォンアプリを使用した電子（キャッシュレス）決済での納付が利用できるようになりました。

※スマホ決済の利用には納付書と対応する決済アプリが必要です。

岡崎南年金事務所 ☎273-6161 〒500-8381 岐阜市市橋2-1-15 住民課 ☎388-1115



消防署

花火による火災の防止

羽島郡広域連合消防本部 ☎388-1195

花火は、子どもから大人まで幅広く親しまれ、愛されている夏の風物詩の一つです。

しかし、原料は火薬であり、間違った使い方をすればやけどや火災など思わぬ事故になりかねません。花火が原因となって発生する事故は年々減少傾向にありましたが、近年は増加しており、事故は毎年後を絶ちません。

そこで、花火を安全に楽しんでもらうためにも、次のことを守って使用しましょう。

1. 花火に書いてある説明書の内容を必ず守る

皆さんもご存じのように、花火は様々な種類があり、ロケット花火は手に持って使用してはならないなどのルールがあります。説明書をよく読み、正しく使用しましょう。

2. 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くで行わない

火は簡単に燃え広がってしまいます。決して燃えやすい物の近くで花火を使用しないようにしましょう。

3. 風の強い時は、花火をやめる

風の強い時は火の粉が飛びやすく、思わぬところまで飛んでしまうことがあります。風の強い時は花火を使用しないようにしましょう。

4. 水バケツを近くに用意する

使い終わった花火は水の入ったバケツに必ず入れ、確実に火を消しましょう。

5. 花火をほぐして遊ばない

花火の間違った使い方は火薬が一気に燃え、時には爆発することもあり、とても危険です。必ずそのままの形で1本ずつ火をつけて使用しましょう。



以上のことに気をつけ、楽しい夏の思い出をつくりましょう。